

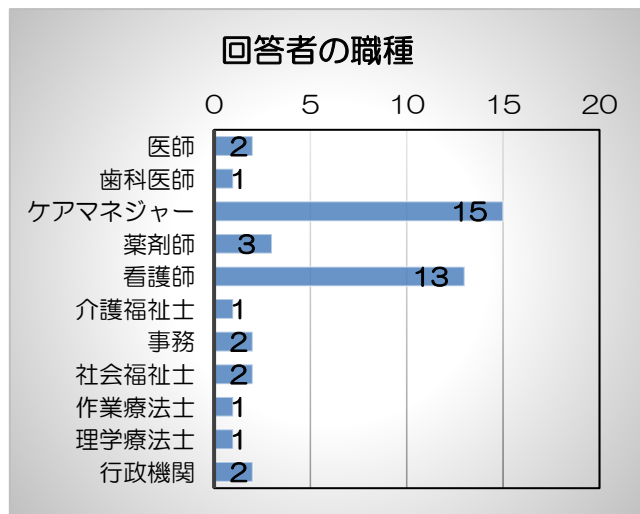
令和7年度 第2回多職種研修会（ワールドカフェ方式）アンケート結果

日時 令和7年10月30日（木）
19時～20時35分
会場 秦野市保健福祉センター
多目的ホール

1 アンケート回収率：73.6%

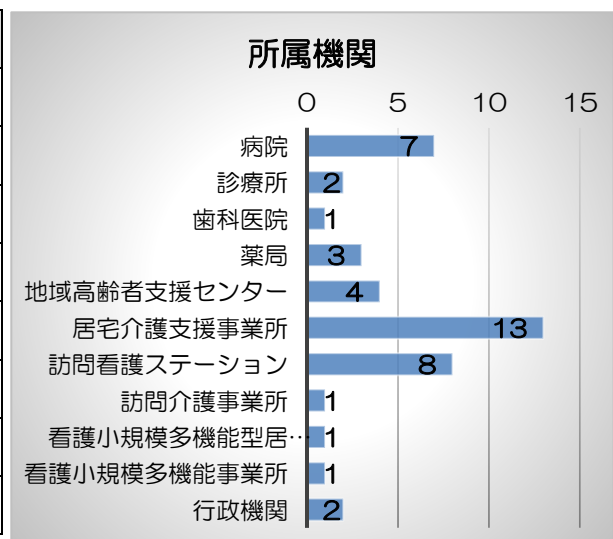
2 アンケート回答者の職種

職種	回答数
医師	2
歯科医師	1
ケアマネジャー	15
薬剤師	3
看護師	13
介護福祉士	1
事務	2
社会福祉士	2
作業療法士	1
理学療法士	1
行政機関	2



3 アンケート回答者の所属機関

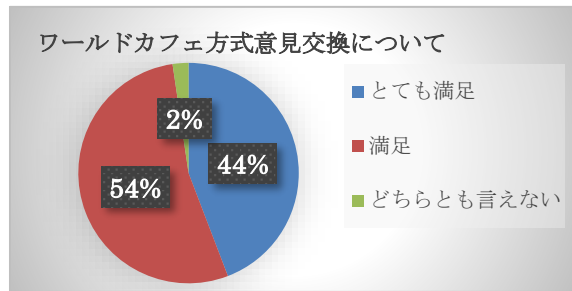
所属機関	回答数
病院	7
診療所	2
歯科医院	1
薬局	3
地域高齢者支援センター	4
居宅介護支援事業所	13
訪問看護ステーション	8
訪問介護事業所	1



看護小規模多機能型居宅介護	1
看護小規模多機能事業所	1
行政機関	2

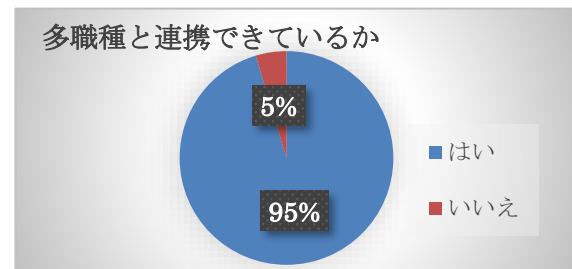
4 ワールドカフェ方式での意見交換について

	回答数
とても満足	19
満足	23
どちらとも言えない	1



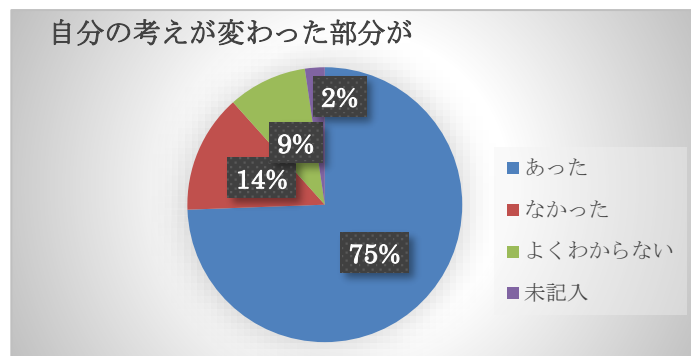
5 現在、地域医療・介護・福祉関係者と連携できていますか

	回答数
はい	41
いいえ	2



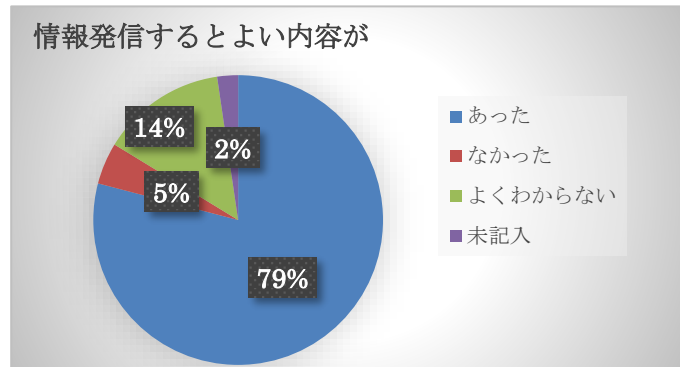
6 普段連携する以外の方と意見交換することで、ご自身の考えが変わった部分はありますか

	回答数
あった	32
なかった	6
よくわからない	4
未記入	1



7 本日の研修会で、地域医療・介護・福祉専門職に向けて情報発信するとよい内容があると感じましたか

	回答数
あった	34
なかった	2
よくわからない	6
未記入	1



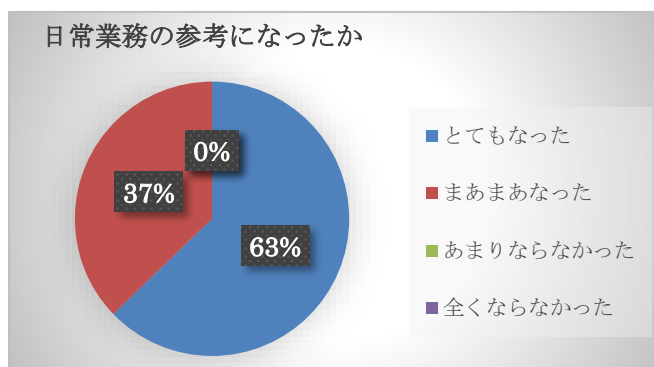
8 情報発信するとよい内容があったと答えた方、それはどんなことですか（抜粋）

- ・居宅のサービスは線で繋ぐ事が難しく、様々な職種の方々から情報発信をして下さると点から線へ繋ぎチームケアがしやすくなるように感じます。
- ・多職種が集まって意見交換できる場はあまりないので、どの内容も発信してよいものだと思う。
- ・医療職の方々との連携について、ちょっとしたことでも共有することで、チームとしてより良い関係性を作ることが大事だと再確認しました。
- ・その方らしい暮らしを支える為、秦野市内の医療・介護の垣根はありません。
- ・歯科関係の情報がまだまだ足りない事を感じた
- ・医師に相談する内容は、事務や看護師から医師に相談する体制をしているので、連絡くださいと話されていました。
- ・秦野市でプラットフォームを統一共有し、煩雑な紙連携をなくしていければと考えます。
- ・訪問看護ステーション間での情報共有が必要な内容もあった
- ・和気あいあいとした良い職場を作ることが大事
- ・いろいろな種類の病院（急性期、慢性期）の職種とお話できて良かったです。
- ・他職種連携をはかるとき、相手の反応が薄くてもあきらめないで、利用者のために他職種へ発信していく必要があること。

- ・地域医療を進めて行く上で「職種間の壁は低い方がよい」というのは皆の共通の認識だと思います。今日の様な研修会はその足がかりになると思います。

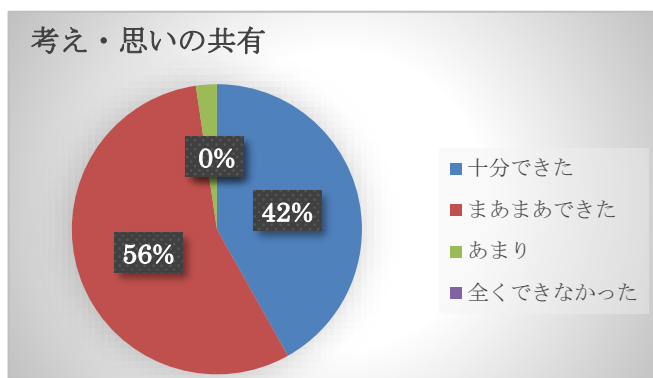
9 研修は、日常業務の参考になりましたか

	回答数
とてもなった	27
まあまあなった	16
あまりならなかった	0
全くならなかった	0



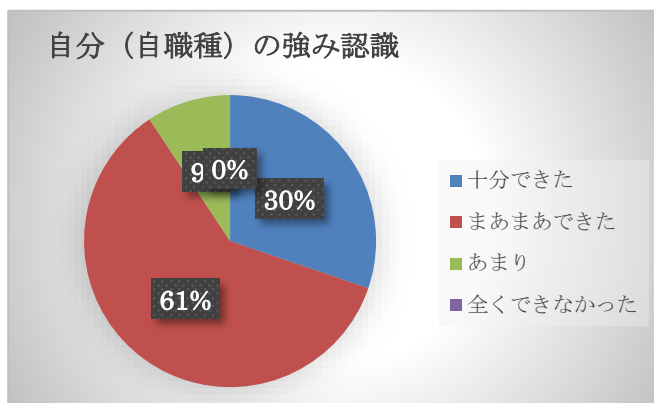
10 他の参加者との思いや考えを共有できましたか

	回答数
十分できた	18
まあまあできた	24
あまり	1
全くできなかった	0



11 自分/自職種の強みを認識できましたか

	回答数
十分できた	13
まあまあできた	26
あまり	4
全くできなかった	0



12 特に印象に残った内容や言葉があれば教えてください（抜粋）

- ・ 秦野市は在宅サマリーがケアマネ協会で作成したものを統一して使用していますが、お褒めの言葉が出ていたのでひな形があることがとてもいいことなだと思いました。作成することは大変だったかもしれませんが…。
- ・ 思いを相手に伝えそれぞれの役割を果たしながらチームとして利用者さんのためにがんばっていくことが大切。
- ・ 情熱的なケアマネがいた。このケアマネと一緒に仕事がしてみたいと、思った。
- ・ 「報告もらったとき、電話でのやりとりなどでも、連絡をいただいたことの感謝の言葉を伝えるように心がけている」自分でもしているつもりですが、お互い協力しあい良い関係性の築く上でとても大切なことと感じます。
- ・ 雑談の大切さ何気ない雑談から得られるものが多いと話があった。
- ・ 現場（利用者さんの生活）を1番把握していると言って頂けて嬉しく思いました。
- ・ 利用者のために、あきらめないで連携をはかり続けること。
- ・ 「コミュニケーション」とひとくくりに行ってしまうと簡単だが、顔を見て（相手の顔と顔を合わせ）、声のトーンを意識し、普段から少しの情報も共有するようにかかわりを持つことの重要性を考えさせられました。仕事をする中でそれらを意識することはなかなか難しい点がありますが（顔と顔を合わせる点）それを念頭に置きながらかかわりを持つことでより良い関係を作る手助けになると思いました。また”連携”についても多職種の様々な意見を聴き、気づきにつながりました。

13 今回の研修で得た「気づき」や「実践につながるヒント」があれば教えてください（抜粋）

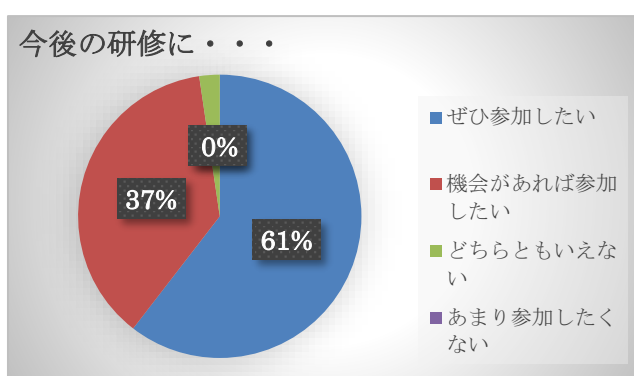
- ・ どんどん遠慮せず、先ずは連絡をする。
- ・ お互い、時間が合わなくてリアルタイムに連絡が取りづらいことがありますが、利用者さんの情報共有、相談をするため これからもまめにいきましょう。
- ・ 連携をとるうえで、顔を知っている環境がいかに有効かということ。

14 医療・介護連携において、今後「仕組み化」や「実践支援」の観点で取り上げて欲しいテーマはありますか

- ・フォーマットの統一方法
- ・他職種連携も必要だが、市内の他事業所の同職種間での情報共有の場があるといい。
- ・共通のツールがあればよい。入退院マニュアル等検討できたら良いです。

15 今後も研修会に参加したいと思いますか

	回答数
ぜひ参加したい	26
機会があれば参加したい	16
どちらともいえない	1
あまり参加したくない	0



16 その他、ご意見・ご要望などあれば記載してください（抜粋）

- ・今回初めて参加させて頂きました。このような大きな研修会に参加される多職種の数も多く、皆さん”地域連携”を大変大切に意識していることが伝わってきました。医師の参加もあり、とても有意義な研修会でした。顔の見える、意見を伝えあえる関係がとても意味のあるものだと一層感じられました。今後も医療職はもちろんですが、介護職の参加を期待したいと思います。
- ・今回のカフェに参加している方たちとの連携のハードルは低いですが、参加していない病院、事業所をどのように巻き込み、自分たちとの連携を図りやすくしていくか。
- ・土曜日の午後開催にして、もうすこし時間があると更に深まる研修会になるのでは、と思いました。また飲食の会があっても良いかとも思いました。
- ・今回のワールドカフェにおいて、通所サービス(デイサービス)の参加者がいませんでした、せっかくの機会なので今後は参加して欲しいと思いました。